

和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム (中野島)	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
ツマキチョウ	シロチョウ科	羽先のワンポイント	○	◎	○	全国

成虫発生時期 (月)											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
○ 食草		食樹		発生回数/年		越冬形態					
タネツケバナ、ショッカサイほか				1		蛹 (さなぎ)					



多摩川土手 (中野島) ♂ 4月14日 (2019年)  
アブラナで吸蜜

早春の蝶の一つで、モンシロチョウやモンキチョウに混じって出現し、飛び方がほかのシロチョウたちに比べると余力強さはないので遠くからでもそれとわかります。

前羽の先にワンポイント、名前の由来である黄～橙色の紋がありますがこれはオスのみです。



多摩川土手 (登戸) ♀ 登戸 4月17日 (2019年)  
ムラサキケマンで吸蜜

これによく似た蝶に、クモツマキチョウというのがあります。「クモマ」(雲間)は高山に生きる動植物につく接頭語で実際に、長野、新潟、富山の標高の高い地域(1000～2000m 図鑑:クモツマキチョウ参照)で見られない珍しい蝶です。

ただヨーロッパではフランスやベルギーの平地で飛んでいました。緯度が高くなると蝶に限らず起る現象で、写真はフランスのロワール川の古城の周辺で撮ったものです。



川崎市 ♂♀ 4月5日 (2023年) 比翼 オオアラセイトウ



クモツマキチョウ フランス・アンボワーズ  
5月17日 (1980年)  
参考:アンボワーズ⇒北緯47度 (札幌⇒北緯43度)





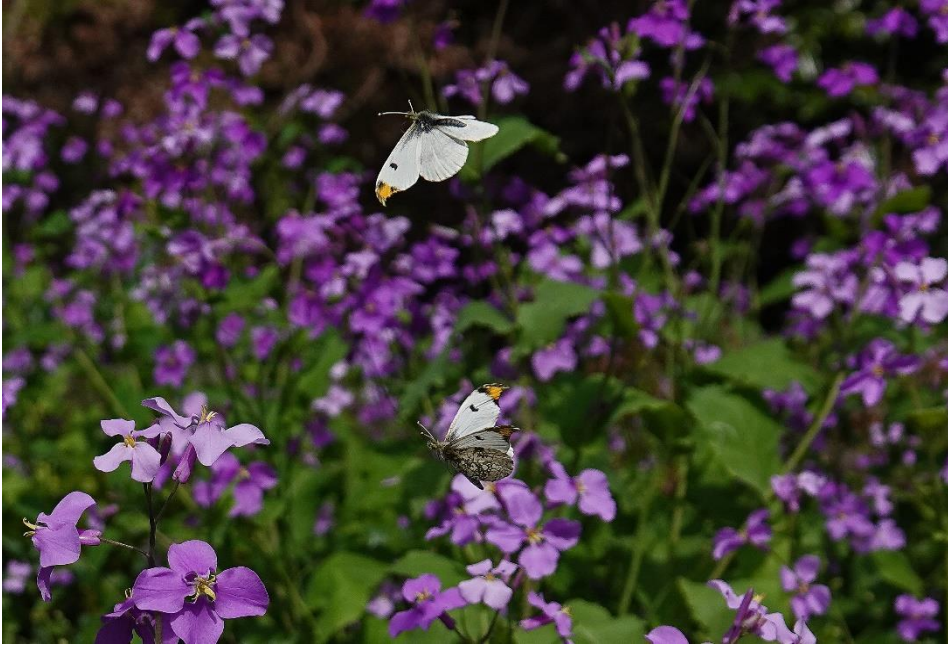
多摩川土手（中野島）  
3月24日（2021年）♀  
セリバヒエンソウに飛来



川崎市  
4月5日（2023年）♀  
オオアラセイトウに飛来



川崎市  
4月10日（2023）♂  
オオアラセイトウに飛来



川崎市 4月7日 (2024)  
オオアラセイトウに飛来する  
♂2頭